Title	多項式 Operatorニ関スルニ三ノ注意 (1)
Author(s)	木村, 直樹
Citation	全国紙上数学談話会. 2(1) p.27-p.30
Issue Date	1946-11-03
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75143
rights	
Note	

8. 多項式 Operator ニ関スル 二三 注意 (1)

阪大 木村直樹

(11月2日受付)

E ヲ complex Banach space, C ヲ complex number ノ space トシマス。E 全体デ定義サレタ函数 $f(x)$ ガ

$$f(\alpha x+\beta y)=\sum_{\nu=0}^{n}\alpha^{n-\nu}\beta^{\nu}p_{\nu}(x,y) \qquad (1)$$

ト表示出来ルトキ n 次齊次トイヒ、之ガ $\alpha=1$ ニ対シテ成立スルトキハ唯単ニ n 次トイヒマス。

$f(x)$ ガ n 次(齊次)ナラバ $p_\nu(x,y)$ ハ x ニ関シテ $(n-\nu)$ 次(齊次) y ニ関シテ ν 次齊次トナリマス. 又 $f(x)$ ハ ν 次齊次式 $f_\nu(x)$ ノ和トシテ

$$f(x)=\sum_{\nu=0}^{n}f_{\nu}(x)$$

ト唯一通リニ和分解サレマス。之ヨリ n 次式ノ或ル種ノ性質ハ ν 次齊次式ノ性質ノ合成トシテ考ヘラレマス。

註 0 次齊次式ハ constant. 一次齊次式ハ之ガ連續ナルトキハ普通ノ所謂線型作用素ナリマスガ連續性ガナイトキハ必ズシモソウハナリマセン、例ヘバ E ニ連續性ヲ入レタ場合ノ Base ヲ $x_{\alpha_1}, x_{\alpha_2}, x_{\alpha_3}, \ldots x_{\alpha_\omega}, \ldots$ トシ連續性ヲ除イタトキノ Hamel ノ Base ヲ

$$x_0, x_1, \ldots x_n \ldots, y_0, y_n \ldots$$

トシマス 此ノ時 E ノ元ヲ z ハ

$$z=\sum_{i=1}^{p}\alpha_i x_{\nu_i}+\sum_{j=1}^{q}\beta_j y_{\mu_j}+\gamma x_0$$

ト unique ニ表ハシマスカラ

$$f(z)=\gamma$$

トシマスト連續デナイ一次齊次式ガ出来マス。

$f(x)$ ガ n 次ナルトキ 一点デ連續ナルコトト 凡テノ点デ連續ナルコトト 全ク同ジコトナリ、又 ノ連續性ハ

次ノ式ニ依リ表ハサレマス。即チ

$$|f(x)| \leqq K\,(1+\|x\|)^n$$

或ヒハ

$$|f(x)| \leqq L\,(1+\|x\|^n)$$

連續ナラバ $\|x\| \leqq R$ デ一様連續ナルコトモ明ラカデス。

即チ一點デ連續ナラバ到ル所デ連續且有界範圍デ一様連續，又一點デ不連續ナラバ到ル所デ不連續トナリマス。

併テ n 次齊次式ヲ (1) ノ如ク表ハシマスト $p_\nu(x,y)$ ハ $E\times E$ カラ C ヘノ Operator ト考ヘレバ

$f(x)$ ガ連續ナラバ凡テノ $p_\nu(x,y)$ ハ連續

トナリマスガ。

$f(x)$ ガ不連續ナラバ凡テノ $p_\nu(x,y)$ モ不連續

ナルコトガ分リマス。ソレニハ

$$f(x+\omega^k x) = \sum_{\nu=0}^{n} \omega^{(n-\nu)k} p_{n-\nu}(x,x)$$

$$n f_\nu(x,x) = \sum_{k=0}^{n-1} \omega^{(n-\nu)k} (1+\omega^k)^n f(x)$$

$$= n\binom{n}{\nu} f(x)$$

トスレバ $f_\nu(x,x)$ ハ E カラ C ヘノ n 次齊次式デ不連續トナルコトカラ明ラカデス

尚 $f(x)$ ノ次數及ビ齊次性ハ invariant デス。即チ unitary 変換 U ニ對シ

$$f(Ux) = g(x)$$

トスルトキ f ト g トノ次數及ビ齊次性ハ保タレマス。

次ニ E ノ linear subspace V トハ $V \ni x, y$ ナルトキニハ常ニ

$$\alpha x + \beta y \in V$$

ナル集合トシマス

Lemma 1　　E $lin.$ subspace V ノ上ノ n 次齊次式ハ存在スル.

Lemma 2　　V ノ上ノ n 次齊次式 $f(x)$ ハ　V ト V ニ屬シナイ一点 z ノ張ル space $V' = (V, z)$ ノ上ニ拡張スルコトが出来ル. 即チ V' 上ノ n 次齊次式 $F(x)$ が存在シ

$$F(x) = f(x) \qquad x \in V$$

更ニ此ノ時 $F(z)$ ノ値ヲ任意ニ指定スルコトモ出来ル。

證.　$F(x+\alpha z) = F(x) + \alpha\, \omega_{n-1}(x) + \cdots\cdots + \alpha^{n-1} \omega_1(x) + \alpha^n \omega_0$

コヽニ $\omega_\nu(x)$ ハ V_{ν} 上ノ ν 次齊次式トスル.

$$F(\gamma(x+\alpha z) + \delta(y+\beta z)) = F((\gamma x + \delta y) + (\gamma\alpha + \delta\beta) z)$$

トシテ展開スレバ $\gamma\ \delta$ ニ関スル n 次齊次式トナリ, ソノ係数ハ x, y, α, β ニヨリ unique ニ決定サレル。依ツテ $x+\alpha z$, $y+\beta z$ ニ依リ unique ニ決ル

尚ホ此ノ方法デ斯カル n 次齊次式 $F(x)$ が凡デ得ラレタコトニナル。

$\boxed{\text{註}}$ 唯 $F(x)$ ノ存在ヲイマノミナラバ

$$F(x+\alpha z) = f(x)$$

トスレバヨイ。

Theorem 1.　E ノ linear subspace V ノ上ノ n 次齊次式 $f(x)$ ハ E ノ上全体ニ拡張スルコトが出来ル　即チ E ノ上ノ n 次齊次式 $F(x)$ が存在シテ

$$F(x) = f(x) \qquad x \in V$$

Lemma 2 ニヨリ Zorn ノ Lemma ヲ使ヘバヨイ。

Lemma 3,　$lin.$ subspace U, V が一次独立ナルトキ U 及ビ V ノ上ノ n 次齊次式 $f(x)$, $g(y)$ ハ同時ニ E ノ上ニ拡張スルコトカ出来ル, 即チ E ノ上ノ n 次齊次式 $F(x)$ が存在シテ

$$F(x) = f(x) \qquad x \in U$$

$$F(y) = g(y) \qquad y \in V$$

但シ $n \geqq 1$

$W = (U, V)$ マデ拡張スレバ充分デアル

$$W \ni z = x + y \qquad x \in U,\ y \in V$$

ニ対シテ

$$F(z) = f(x) + p_1(x, y) + p_2(x, y) + \cdots + p_{n-1}(x, y) + g(y)$$

但シ茲ニ $p_\nu(x, y)$ ハ x ニ関スル $(n-\nu)$ 次 y ニ関スル ν 次斉次式トスル。

確カニ F ハ U, V ノ上デ夫々 f, g ト一致スル. 又 F ハ n 次斉次ニナルコトモ明ラカデアル。

注 斯ガルーツノ函数ガ存在ナラバ $F = f(x) + g(y)$ トスレバヨイ。

尚以上ノ Lemma カラ後ノ議論ハ斉次性函数集合トモ出来ル. ソレハ $f(x) = \sum_{\nu=0}^{n} f_\nu(x)$ トシ各 f_ν ニ対シテ論ジ, 和ヲ取レバヨイ。

Theorem 2 ニツノ lin subspace U, V ノ上ノ夫々 m 次 n 次ノ多項式 $f(x), g(y)$ ハ次数ヲ $\mathrm{Max}(m, n)$ ニ保ッテ E 全体ニ拡張シ得ルタメノ必要且十分ナル条件ハ $D = U \wedge V$ ノ上デ

$$f(z) = g(z) \qquad z \in D$$

ナルコトデアル。

Definition ノ n 次斉次式 $f(x)$ ニ対シ, ソノ零点集合

$$M = \{x \mid f(x) = 0\}$$

ヲ n 次斉次集合トイヒ $(n \geqq 1)$, 如何ナル k 次斉次集合モ含マナケレバ $(n > k)$ 既約トイヒマス。

n 次斉次集合ハ $n > k$ ナル k ニ対シ k 次斉次集合ニナルコトモアリマス。 ニ一次斉次集合ハ既約デ Maximal lin subspace トナリマス。上定理ハ E ノ subspace ノ上ノ n 次斉次集合ヲ全体ニ n 次斉次性ヲ失ハズニ拡張出来ルコトヲ示シタワケデス。

（続ク）